



鷲野 聡明 議員

企業誘致対策室の具体的方針は

質問

企業誘致対策室として専任体制がスタートできたことは、一歩前進として評価したい。今後の具体的方針について尋ねる。

8月に企業誘致の先進地、岐阜県多治見市へ視察に出かけた。全庁的な行政手続きの迅速性、ワンストップサービスによる対応、インフラ整備、トップの決断などが求められると強く感じた。

市も、企業誘致プロジェクトチームの発足が必要と思うが計画はあるのか。2カ所の企業誘致エリアの面積と地権

者数は。

用地の確保が必須の条件であり、近隣市民や地権者の理解と協力を得るためには、説明会の開催が必要と思うが、今後の方針は。

企業誘致の土地販売価格は、坪当たり10万円以上では困難と言われている。現在の購入価格は実態価格に合わせ見直すべきではないか。

経済建設部長

企業誘致には法手続きやインフラ整備などを行う必要が出てくることは間違いない。いかに迅速に対応するかが問



▲企業誘致が進む稲沢市

題になってくることから、専門的知識を持った職員のプロジェクトチームはつくりたい。企業誘致のエリア面積は佐屋地区約130ha、佐織地区約34ha。地権者の数は、現段階では把握していない。

今後、企業誘致の場所が決定されれば、地元説明会をしっかりと行っていきたい。

用地買収単価は、場所に関係なく地目ごとの一律の単価。今後については、実勢価

格にしていくべきだと考えている。

市長

プロジェクトチームが早く設置できるような、状況に

なってほしい。職員にも全市を挙げて企業誘致を進めるといふ話をしている。

各支所の利用計画は

質問

佐織支所は防災拠点に。

ある市民の方から提案を受けた。大地震、河川決壊、液状化の不安解消のため、耐震補強の上、防災拠点、避難所にしたらどうか。1階は開放し、雨天でもグラウンドゴルフができるようにならないのか。高齢者や障害者の健康と安全を保持していくことは大切な課題と思うが。

次に、立田支所と八開支所の利用計画の現状は。

総務部長

支所の整備基本計画は、既存施設の活用を踏まえ、今内容を精査中で、取りまとめた段階で特別委員会を経由して報告をしたい。佐織支所の基本的な考え方は、耐震補強の必要がない一部分の活用と最小限の増築を行い整備を図っていきたい。

市長

公共施設の今後のあり方も含めた中で考えていかなければならない。愛西市にとって、計画、実行してよかったなと言われるような街づくりに努めていきたいと考えている。